

2011年5月23日

日立情報が中国・広州にシステム運用の合併会社を設立

～中国向けクラウドビジネス強化・拡大の一環として、
高品質なシステム運用サービスを中国・華南地区で展開～

株式会社日立情報システムズ（取締役社長：原 巖、本社：東京都品川区大崎、以下 日立情報）は、システムの遠隔監視やヘルプデスク等を含めた高品質なシステム運用サービスをBPO（Business Process Outsourcing）として中国市場に展開することを目的に、広東華智科技有限公司（代表者：梅 傲寒、本社：広東省広州市、以下 広東華智）と共同で合併会社「広東華智立信軟件有限公司」を中国広東省広州市に設立し、6月より事業を開始します。

これにより日立情報では、高品質できめ細かなシステム運用サービスを、合併会社を通じて中国・華南地区の日系企業や現地企業に提供します。また、合併会社設立による事業体制強化により、中国向けクラウドビジネスの強化・拡大を目指します。

<合併会社設立の背景>

中国におけるITの利用拡大に伴い、金融機関や物流企業をはじめとする中国企業では、高品質で高付加価値なシステム運用サービスへのニーズが高まっています。特に、24時間365日にわたるシステム稼働監視やサーバ・アプリケーションの監視サービスが求められています。

日立情報では、昨年4月に専門組織「中国事業推進本部」を設置して中国市場への本格参入を発表し、日立情報が得意とする業務アプリケーションの構築・運用やネットワークサービスの分野で、現地パートナー会社とともに事業の創出に取り組んできました。本年4月には、クラウド型サービスの事業者として認可を受けている広東華智と連携し、製造業・卸売業向け基幹業務パッケージ「TENSUITE（テンスイート）」の在庫数管理モデルや流通業向け受発注データ交換サービス「REDISuite（レディースイート）」のWeb-EDIサービスを中国で開始しています。

こうした背景から、日立情報ではクラウドビジネス強化・拡大の一環として、中国市場向けシステム運用サービス、クラウド型サービス事業の一層の強化・拡大を目的に広東華智と合併事業契約を締結し、BPOサービスを行う合併会社「広東華智立信軟件有限公司」の設立を決定しました。今回設立する合併会社は、6月より事業を開始します。

<合併会社の事業内容>

合併会社ではアウトソーシングベンダとして長年培ってきた日立情報の運用ノウハウを活かし、サーバやシステムの遠隔監視、ヘルプデスク、業務運用、BPM（Business Process Management）等、お客様のシステム運用を包括的に支援するBPOサービスを提供します。

また、中国最大の通信事業者でデータセンタも運営する中国電信広州分公司（広州電信）に対するシステム運用サービスの提供を通じ、中国市場向けクラウドビジネスの強化・拡大を目指します。

<合弁会社が提供するサービス>

サービスメニュー	サービス内容
遠隔監視サービス	お客様のサーバ、ネットワーク、周辺機器を遠隔（リモート）で監視するサービス。株式会社日立製作所のJP1をベースに日立情報の統合監視ツールを組み合わせ、高品質できめ細かな監視サービスを提供
ヘルプデスクサービス	システムの障害や性能低下などのトラブル対応や運用変更依頼などの問合せに対応するサービス
業務運用サービス（計画中）	お客様の煩雑な業務を効率化し、付加価値を高めるサービス
BPMサービス（計画中）	お客様の業務に対するBPM（Business Process Management）コンサル、BPMツールによる運用サービス

<合弁会社の概要>

会社名	広東華智立信軟件有限公司
設立年月	2011年5月
代表者	董事長兼總經理 梅 傲寒（広東華智科技有限公司總裁 兼務）
所在地	広東省広州市広州科学城彩頻路11号D座
登録資本金	7,800万円
出資比率	広東華智科技有限公司 51% 株式会社日立情報システムズ 49%
従業員数	30名（初年度予定）

<広東華智科技有限公司の概要>

会社名	広東華智科技有限公司
設立年月	2003年3月
代表者	梅傲寒 總裁
所在地	本社：広州市 日本支社：川崎市 北京支社：北京市
登録資本金	1,100万人民元
従業員数	420名（2010年12月現在）
事業内容	日本向けオフショア開発、システムインテグレーションサービス 運用と保守、コンサルティング

<報道機関の問い合わせ先>

CSR 本部 コーポレート・コミュニケーション部 松林、杉山
 TEL 03-5435-5002（ダイヤルイン） email: press@hitachijoho.com

以上